



- ① 精度の高いねじ締めを実現する小型装置「サーボナットランナ」
- ② ねじ締めは安全に直結するため品質検査を徹底
- ③ 新分野に向けた開発を行う東郷事業所
- ④ ニーズに応える製品を生み出す開発現場
- ⑤ モーターを使用した小型のプレス機「サーボプレス」
- ⑥ 作業しやすいコードレスハンドツール

## 株式会社 エスティック



代表取締役社長  
すずき ひろし  
鈴木 弘 さん



あらゆる振動に耐える精密な  
ネジ締めの実現で安全を守る

高精度ねじ締め機「ナットランナ」、「ハンドナットランナ」の開発・製造・販売のため、平成5年に設立しました。各種製品の組立工程向けに設備・電動工具を手がけています。特に主力市場の自動車産業では、ねじの緩みは大きな事故に繋がるため、品質管理が徹底されており、当社の製品が命を預かっていることを深く認識して、安全を重視した製品開発・製造に心血を注ぐことで信頼を獲得してきました。平成13年には中国上海市に生産拠点を設置し、販売拠点として平成24年にタイ、平成26年に米国へ進出、海外展開にも力を入れています。

- 主な事業内容  
電動工具、産業用ロボット、自動組立ラインの製造・販売
- 主な取引先(納入先)  
自動車メーカー、機械メーカーなど

住 所 / 〒570-0031  
大阪府守口市橋波東町2-5-9  
TEL / 06-6993-8855  
FAX / 06-6993-8881  
創 業 / 平成5年8月  
設 立 / 平成5年8月  
資本金 / 5億5,700万円  
従業員 / 120名

<http://www.estic.co.jp/>

## ねじ締結工程の電動化を高精度に実現、 電動工具で安全を支える

### 事業内容と沿革

#### 高精度のねじ締め機で世界の製造現場を支える

「エスティック」は平成5年8月に高精度ねじ締め機「ナットランナ」の開発・製造・販売を目的に誕生した。ユーザーからの要望に応じ、これらの製品を設計してきた鈴木弘社長が、油圧シリンダーメーカーの太陽鉄工(株)(現(株)TAIYO)からEBO(従業員による買収)により独立する形で設立。同年11月に大阪市東淀川区から大阪府守口市に移転し、関東や中部など営業拠点を増やしながらニーズに対応してきた。各種製品の組立工程での品質管理を担う設備や電動工具を供給し続けて

いる。平成12年には小型の「ハンドナットランナ」を発売し、作業性を高めた。平成13年には北米へ「ナットランナ」のOEM(相手先ブランド生産)を供給し、中国上海市へは合弁会社による生産拠点を設置、海外展開を始めた。さらに、自社製品の販売拠点として平成24年にタイ、平成26年に米国へ進出して海外での需要に応えている。また、平成18年には東証マザーズに上場し、平成28年には東証第2部に変更。市場面でも信頼性を高めている。

### 強み

#### どのような振動にも耐える 計算された締結を実現

同社のねじ締め機の特徴を、鈴木社長は「考えながらねじを締めることができる」と表現する。さまざまな周波数の振動が加わってもねじが緩まないように締められる点が特徴。一般的な電動締結ツールのダイレクトモードに加え、作業時に発生する反力を大幅に低減できるパルスモードを開発し、日米中で特許を取得している。角度センサーやトルクセンサーを搭載し、力学的に緩みが発生しない降伏点まで確実に締める。高精度のねじ締めを実現して作業現場の生産性を高めることで、「自動車産業の組立自動化に貢献してきた」と鈴木社長は胸を張る。

日本企業の海外進出と共に、外国への供給体制も整えた。中国での生産体制構築や米国とタイの販売拠点に加え、代理店販売によってインドやブラジル、トルコ、スペインなどにも供給し、現地企業の需要も開拓している。米国には現在のケンタッキー州に加え、平成30年以降ミシガン州にも販売拠点を設ける計画を立てている。

### 取り組み

#### ユーザーの安全管理に貢献、 自社製品のメンテナンスに力

最適な条件で締結を行うだけでなく、記録の管理を行えるのも同社製品のメリットだ。自動車産業では安全管理のため、ねじ締結の日時や締め付けの強さ、回転角度など細かな条件を部位ごとに製造番号とともに記録する必要がある。ねじ交換時にも容易に締結作業を再現でき、安全性を維持することができる。

高精度の締結を実現し続けるためにはメンテナンスが不可欠。同社製品は機械装置にセンサー、モーターとさまざまな構成要素を持つ。コンピューター制御を行っているため、特に電子機器の変革に仕様が大きく左右される。「2年から3年で電子機器が変化し、コントローラーが変わり、ソフトウェアも変更しなければならない」と鈴木社長は難しさを語る。「営業力だけでなくメンテナンスの対応力が必要」との考えから、鈴木社長はメンテナンス担当者を現在の10名からさらに増員する構想を持つ。

### 今後の展開

#### 海外対応力の強化と 新規分野への参入に 取り組む

世界中でそれぞれの地域特性に合わせたサービスの提供を迅速に行うため、今後も現地法人を増やす計画。ねじ締結装置業界で世界一を目指す。さらに「『ナットランナ』はメンテナンス対応が命」と鈴木社長は力説する。米国や中国の現地社員を育成し、平成29年中に日本と同様のメンテナンスが可能な体制を構築する予定。2年に一度は必要な原器センサーと照らし合わせた精度の微調整の対応や、日常の技術者派遣要請に添えていく。

さらに、航空機や鉄道、ロボット、ロケットなどの新規分野への参入を目指す。平成28年に守口市内に東郷事業所を設置。延べ床面積約2,000㎡の大規模な拠点で、自動車産業や航空機産業などの製造装置の自動化、ロボット化に挑戦し、組立ラインの設計・製作を行っている。「『ナットランナ』と並ぶ2本柱に育てたい」と鈴木社長は意気込む。両分野ともに、高機能化や小型化、高速化の要望に応え続ける。